

# 躍進

1年  
学年だより

No.16

令和8年2月3日  
かほく市立高松中学校  
校長 塚田秀和  
学年主任 上谷由喜

## 未来につながる学びの時間-「職業人に学ぶ会」を終えて-

1月30日（金）に、「職業人に学ぶ会」が行われました。本会は、生徒たちが「働くこと」について考え、将来のキャリア学習への意識を高めることを目的として実施しました。講師の皆様から直接お話を伺い、多様な職業や働き方、仕事のやりがいや社会とのつながりについて具体的に学ぶことができました。

本会での学びが、生徒一人一人が自分の将来を考え、学校生活や学習に前向きに取り組むきっかけとなることを期待しています。

### 振り返りより \*全ての方に共通するキーワード:「人間関係」「コミュニケーション」

#### 塩谷枝里様(キーワード:ダブルワーク、多様性、好きなことの追求)



- 仕事を楽しむポイントは、やりたい仕事をしたり、相手との対話、空間、時間を大切にしたりすることだと学んだ。これからは学校生活や日常生活などでも友達や先生、家族との対話、空間、時間を大切にていきたいと思う。それを将来につなげ、楽しく働きたいと思った。
- 私は自分の価値観や、好きなことや本当にやりたいことを見つけられずにいて、焦りを感じていました。だけど、働くときの心得や塩谷さんの価値観などに触れ、これからは、いろんな経験を通して自分の価値観を見つけていきたいと思いました。
- 仕事をするときは、自分の好きなことを仕事にすることも大切だと知りました。けれど、好きなことを仕事にするときにはもう一つ収入が安定した仕事をしたり工夫しないといけないと分かりました。さらに、仕事では一人一人いろんなやり方や考え方がありそれを否定しないことも必要だと分かりました。

#### 別宗利哉様(キーワード:障がい者の自立支援、パラスポーツ)



- 別宗さんの日常というのは、「細かい瞬間は小さな宝」とおっしゃっていて、その言葉を聞いた瞬間に今生きている中でほんの小さな宝物や大きいビッグチャンスな宝物が転がっていると思って色々なチャンスがあるのに僕はそれを見逃してきたんだなと思いました。他人に任せっきりではなくて、自分からどんどん積極的にチャンスを掴んでいきたいと思いました。
- 特に心に残っているのは「学校などで習ったことは今の仕事と繋がっている」というところです。今この瞬間に習うことが大切なんだと知りました。
- 特に心に残ったのは、障害を持った人でも人を助けることができるということです。人生は小さい選択肢がたくさんあって、一瞬一瞬が学びとおっしゃってくれたので自分も人助けをしたときは、ちゃんとこの選択肢でアッテいるのかをよく考えてこれからも過ごしていきたいです。

## 高橋恵子様(キーワード:農業、時間の使い方、挑戦)



○農業の大切さがわかったし、失敗は悪いことではないし、失敗から学ぶことのほうが多いことがわかったのでよかったです。これからは何事にも挑戦したいと思いましたし、中庭の畑も頑張りたいと思いました。

○農業だけでなく生活面のことも農業と比較して言ってくれたので、とても深いことを知りました。特に、888法則というものや、することを決めるのが1番で手段が2番のようなことを教えてくださって良かったし、失敗がずっと続いてもお金を気にせず続けていると言っていたので、僕もプロ委などで学んだことをしっかり活かしたいです。

○挑戦すること、人間関係は大事だとわかりました。作物を育てるのが失敗しても、そこから学んで、次に生かすといいことがわかりました。次の探究学習ではそれを生かして頑張りたいと思いました。

## 北川遼典様(キーワード:世界で唯一の繊維「趣コード」、挑戦、試行錯誤)



○一瞬で成功したのではなく、何度も何度も失敗して成功したと知りました。だから失敗してもいいからチャレンジしようと思いました。もし失敗したら失敗のまま終わらさず、次に生かそうと思いました。

○失敗しないと成長しないという話が心に残りました。私は失敗がいやで挑戦とかしてこなかったけど、やっぱり挑戦は大切だと気づけました。なにか目標をもってがんばっていきたいです。

○悩むだけではなく、考えるのもやめ、違うことに取り組むことも大切だとわかりました。ずっと止まって考えているよりも、動いたりして、リフレッシュするほうがアイデアなどができることに共感しました。これからはなにかアイデアを出すときは、リフレッシュもやりながら考えていきたいと思いました。

## 西村敏晴様(キーワード:すえひろがり、働く環境作り、チームワーク、試行錯誤)



○西村さんが社員やお客様などの視点から考えながら人間関係を大切にしていると知り、私は、今家族のことや友達の視点から自分がどうすべきか考え、これからも人間関係を大切にしていきたいと思いました。

○仕事をする上でコミュニケーション能力が大事だということがわかりました。また、普段の勉強だけでなく、行事の参加や趣味なども積極的にして、将来につなげたいです。

○中学校や高校で学ぶことで仕事に生きていることは勉強ではなくチームで頑張って目標を達成させることだと聞き驚きました。仕事をするときにコミュニケーションを上手くできないと仕事がどれだけテキパキできてもいい印象は持たれないから気をつけたいです。夢がなくても焦らずにゆっくりとしたいことを探していくべきことと、挑戦したほうが社会人になったときに伸びることができるとわかったので焦らず少しの挑戦でもいいからしていきたいし、そのためには失敗を怖がらないようにしていきたいと思いました。

## 吉田智葵様(キーワード:テレワーク、フレックス制、ワークライフバランス)



- 自分のキャリアに合わせて仕事をする働き方や、海外や旅行先からも仕事をすることができるテレワークについてなどを学びました。人と人、地域と地域のつながりを大切にして生活していくこうと思いました。高校生になって社会に役立てるように今から頑張りたいです。
- いろいろな働き方や自分の趣味や人生に合わせた仕事を自分で決められること、NTTドコモの詳しいことなどをよく知ることができた。
- テレワークなどの働き方もふまえて自分にあった仕事を見つけて世のため、人のために働きたいと思いました。吉田さんは自分の時間も大切にしていたので自分もそんな風に働きたいです。

## 保護者の皆様へ

日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

今回の「職業人に学ぶ会」を通して、生徒たちは働くことの意味や社会とのつながりについて、多くの気づきを得ることができました。こうした学びは、学校の授業だけで完結するものではなく、ご家庭での対話によって、より深まり、実感を伴ったものになっていきます。

ぜひご家庭においても、「どんな仕事に興味をもったのか」「どんな働き方、生き方をしたいのか」「なぜそう考えたのか」といった話題をきっかけに、進路や将来について話し合っていただければと思います。また、中学校生活や日々の学習が、将来どのように実社会と結びついていくのかを一緒に考えることで、生徒自身が学ぶ意義を実感する機会にもなるはずです。

本校では今後も、探究的な学習やキャリア学習を通して、生徒一人一人が自分の将来を主体的に考え、歩んでいける力を育んでまいります。引き続き、温かいご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願ひいたします。

## 出会いを近づける 心もつながる交流会

会に先立ち、講師の先生方を交えてフットサル交流会とダンス交流会を実施しました。フットサルでは、別宗利哉様・中野喜文様・山田浩史様・吉田智葵様にご参加・ご指導いただき、ダンス交流会では塩谷枝里様にリードしていただきました。当日は、生徒たちが笑顔で積極的に参加し、応援に駆けつける生徒も多数見られるなど、学年全体が一体となって大いに盛り上がりを見せました。





## 先生企画の学年レク「新しいカギ」学校かくれんぼ

先生企画の学年レクとして、「新しいカギ」でおなじみの学校かくれんぼを行いました。校内に1年生の先生5人がかくれ、生徒たちはクラスで協力しながら先生探しに挑戦！「ここじゃない？」「次はあっち行こう！」と声をかけ合い、どのクラスも全力で校内を探し回っていました。結果は、なんと5人中3人の先生を発見！見つけた瞬間は大歓声！クラスで団結して取り組む姿がたくさん見られ、大盛り上がりの学年レクとなりました。

